

第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度実績評価一覧(数値目標・KPI)

基本目標1 産業を育て、生き活きと働くことができるようにする

重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						評価	評価の視点	
①	主要作物作付面積 水稻	5,244ha	4,902ha	5,560ha	水稻については「生産の目安」の推進に取り組むため、目標値を達成できなかったが、それ以外は目標値を達成できた。	特になし	継続	水稻は「生産の目安」の推進に取り組んでいるところであり、主要作物作付維持は図られており、施策を継続していく。
②	主要作物作付面積 小麦	687ha	965ha	850ha			継続	
③	主要作物作付面積 大豆	467ha	684ha	420ha			継続	
④	主要作物作付面積 そば	2,471ha	2,303ha	2,160ha			継続	
⑤	広里工業団地内 企業の雇用者数	364人	392人	390人	企業誘致に関する継続的な取り組みにより、目標値に達することができた。	特になし	継続	雇用機会の創出等に繋がる ことが重要と判断したため、 事業を継続していく。

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)	
						評価	評価の視点
(1)本市を支える農業等の維持発展							
①多様な人材の確保及び農地の集積・集約化	新規農業従事者数(後継者含む、人)			農業者それぞれの経営状況や後継者の有無等により左右されるため、結果的に目標値を達成できなかった。	特になし	継続	農業従事者の高齢化、減少下において、新規就農者をはじめ多様な人材を確保することは、農業農村の維持のため重要な取り組みであることから、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	8	7	9				
②営農条件の積極的な改善と所得の確保	農産物生産量 水稻(t)			水稻については「生産の目安」の推進に取り組むため、また、そばについては単収が良くなかったため、目標値を達成できなかったが、小麦・大豆は目標値を達成できた。	特になし	継続	水稻は「生産の目安」の推進に取り組んでいるところであり、主要作物生産維持は図られており、施策を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	30,410	22,427	30,940				
	農産物生産量 小麦(t)					継続	
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	2,822	4,420	3,460				
	農産物生産量 大豆(t)					継続	
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	1,206	1,884	1,060				

③森林の適正管理と林業従事者の育成確保	農産物生産量 そば(t)					継続	
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	1,258	899	1,460				
	市有林の整備面積(ha/年)			市有林については、計画的に間伐を実施し目標値を達成できたが、民有林は被害地造林等の発生により目標値を達成できなかった。	特になし	継続	森林のもつ多面的機能の維持・増進を図るため施策を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	6.8	10	7				
	民有林の整備面積(ha/年)				特になし	継続	
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	90	104	132				
	有害鳥獣捕獲頭数(エゾシカ、頭/年)			野生動物の集落への出没が多く、効果的に猟銃による駆除ができたため、目標値を達成できた。	特になし	継続	個体数の増加を防ぐ必要があるため、施策を継続していく。
④有害鳥獣による農業被害への防止	基準値	R6実績値	R6目標値				
	146	426	240				
	有害鳥獣捕獲頭数(アライグマ、頭/年)				特になし	継続	
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	83	708	140				
(2) 地域資源を活かしたものづくり産業の振興							
①地域資源の活用	深川シードル等果実酒の製造数量(Q)			原料確保が困難となり、目標数量を確保することが出来なかった。	原料の確保に尽力する。	継続	地域資源を有効活用することが重要と判断し、事業を継続していく
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	10,000	4,720	12,700				
	地域資源を活用した特産品開発件数(件)			市内事業者による意欲的な取り組みによって目標を達成できた。	特になし	継続	地域資源を有効活用することが重要と判断し、事業を継続していく
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	2	5	5				
	地場産農産物の給食食材利用品目数(品目)						
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	15						
	深川ポーク加工品の販売額(千円)			道内外でのイベント出店など、積極的にPRを推進したが、目標値を達成できなかった。	特になし	継続	引き続き販路・販売の拡大に努めるとともに、新たな販路開拓・商品開発を推進する。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	4,746	11,866	22,415				
②深川名物の普及促進	市外物産イベントにおける出店回数(回/年)			米の需要拡大を受け、様々な地域でイベントを実施し、目標値を大幅に超えることができた。	計画改訂に向け成果指標を検討していく。	継続発展	地域資源を有効活用することが重要と判断し、事業を継続していく
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	13	31	18				

③地場産品の海外販路の開拓	コメ海外輸出量(t)			過去2年と比べ減少したが、アジア圏への輸出が定着しており、目標値を達成できた。	特になし	継続	海外販路の開拓、輸出拡大は必要な取り組みであるが、国内の動向を注視しながら施策を推進していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	52	1,052	66				
(3)企業の経営体質強化と商店街づくり							
○商業・サービス業の振興と中心市街地の活性化	創業支援事業者件数(件/年)			創業支援に関する体制整備を行っているため、目標値に達することができた。	特になし	継続	商業振興等のためには創業支援を行うことが重要と判断したため、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	0	1	1				
(4)企業誘致の推進							
○企業誘致の推進	市の支援により工場等を新設及び増設した企業数			工場新設により目標値に達することができた。	特になし	継続	雇用機会の創出等に繋がることが重要と判断したため、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	1社	4	5年間累計3社				
(5)労働力の確保							
○雇用の安定と創出	若年者等雇用拡大奨励金の申請件数(件/年)			人手不足の情勢により目標値を上回ることが出来なかった。	特になし	見直し	雇用機会の創出など一定の役割を果たしたため見直しを行う。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	8	4	8				
	育児休業取得支援助成金の申請件数(件/年)			育児休業を取得させる企業が増加傾向にあり目標値を大幅に超えることができた。	特になし	見直し	育児休業取得率の向上など一定の役割を果たしたため見直しを行う。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	2	10	2				

基本目標2 本市の魅力を発信し、ひとを呼び込む

重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)		
						評価	評価の視点	
⑥	観光客入込数	年113万人	年120万人	年122万人	全国的に人の動きが活発化し、観光客が分散したことに伴い、目標値に達しなかった。	特になし	継続	観光振興を通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。
⑦	移住件数	年6件	年30件	年15件	道外の各種移住相談会への出展のほか、オンラインセミナーを開催し移住希望者との接点を増やす取り組み等に注力した結果、目標値を達成した。	特になし	継続	移住・定住により市外からひとを呼び込む取り組みは重要と判断し、事業を継続していく。

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)				
						評価	評価の視点			
(1) 移住・定住の推進										
○移住・定住の推進	移住相談受付件数 (移住相談会分含む、件/年)			道外の各種移住相談会への出展のほか、オンラインセミナーを開催し移住希望者との接点を増やす取り組み等に注力した結果、目標値を達成した。	移住相談受付件数はイベントの規模によるものであることから、数値目標を相談会等参加件数に改める。	見直し	移住・定住により市外からひとを呼び込む取り組みは重要と判断し、事業を継続していく。また、左記のとおり数値目標を改める。			
								基準値	R6実績値	R6目標値
								97	255	130
	地域おこし協力隊の新規任用者数			当市や移住関連のHP等に協力隊の募集情報を掲載しPRを行った結果、目標値を達成した。	協力隊の任期終了後、地域に根付く人材の確保が課題であることから、数値目標を定住率に改める。	見直し	移住・定住のほか地域の活性化に資する重要な取り組みと判断し、事業を継続していく。また、左記のとおり数値目標を改める。			
								基準値	R6実績値	R6目標値
								年1人	年7人	5年間累計5人
(2) 関係人口の創出・拡大										
○関係人口の創出・拡大	都市農村交流センターの利用者数 (うち浴場利用者数、人/年)			地元農産物を使用した加工体験や「まあぶフェスタ」等各種イベントの実施により、目標値を超えることが出来た。	特になし	継続	関係人口の創出・拡大に関する取り組みの重要性が増していることから、今後も継続事業としていく。			
								基準値	R6実績値	R6目標値
	133,544 (101,467)	143,799 (112,356)	140,000 (106,500)							

	地域資源を活用したふるさと会、同窓会等の団体数(団体/年)	ふるさと会を中心に地域の情報提供を行ったが、同窓会応援事業の休止等もあり、当初設定した目標値に達しなかった。	目標値を実績に基づき修正する。	継続	ふるさと会等との交流機会の充実は、関係人口の創出・拡大に関わる重要な取り組みと判断し、事業を継続していく。	
	基準値	R6実績値	R6目標値			
	4	4	24			
	ふるさと納税寄附者に対するメールマガジン送信件数(件/年)	制度改正に伴い廃止				
	基準値	R6実績値				R6目標値
	1,090	-				現状維持
	ワーケーション体験事業受入件数(件/年)	ワーケーション体験事業は未実施のため、目標値を達成しなかった。	コロナ禍後のワーケーションの需要など、状況を見極めて対応する。	見直し	コロナ禍後のワーケーションの需要が低い状況であると判断し、目標設定を見直す。	
	基準値	R6実績値	R6目標値			
	0	0	5			

(3)観光・スポーツ・文化などを通じた交流人口等の拡大						
①観光資源の開発整備と交流の促進	道の駅ライスランドふかがわの来館者数(万人/年)	全国的に人の動きが活発化し、観光客が分散したことに伴い、目標値に達しなかった。	特になし	継続	観光振興を通じた地域経済活性化を図るため、引き続き目標値達成に向けて事業を継続する。	
	基準値	R6実績値				R6目標値
	91.1	92				100
②スポーツ・文化・芸術を核とした交流の推進	実業団や大学等のスポーツ合宿の延べ宿泊数(泊/年)	継続的な誘致活動と受け入れ対応により、リピーターの合宿チーム確保や新規の合宿チーム獲得に繋がり、2年連続で目標値を達成した。	実績増に向けて冬期間の合宿チーム確保が課題であり、継続的なPRが必要。	継続	市の知名度向上や交流人口・関係人口施策として効果的な事業であることから、実績増を目指して取り組みを継続する。	
	基準値	R6実績値				R6目標値
	10,350	14,627				11,000

(4)高校・大学等との連携						
○高校・大学等との連携強化	拓殖大学北海道短期大学1年生の新規市内居住者	入学予定者に対して自立生活助成金の情報提供を行ったが、目標値を達成しなかった。	R8年度から学生募集停止となるため、目標設定を見直す。	見直し	R8年度から学生募集停止となるため、目標設定を見直す。	
	基準値	R6実績値				R6目標値
	入学者の63%	入学者の56%				入学者の67%

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R6実績値	R6目標値	KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)	
						評価	評価の視点
⑧ 合計特殊出生率	1.20	1.16	1.50	複合的な要因によるため達成状況の判断は困難	引き続き子育て支援の取り組みを行う	継続	施策との関係性を一義的に判断することは困難

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)	
						評価	評価の視点
(1)男女の出会いをつくる							
○出会いの創出	婚姻件数			結婚新生活支援助成を実施したが、目標値には達成しなかった。	出会いの創出に係る事業の実施を検討する。	継続	人口減少下において、出会いを創出し婚姻につなげる重要な取組みと判断し、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	年52件	5年間累計 227件	5年間累計 260件				
(2)子育て支援の充実							
①妊娠・出産までの支援	保健師による新生児訪問率(%)			妊娠時からの切れ目ない支援によって、子育て支援の充実に繋がっていると考えられる。	特になし	継続	今後も安心して育児ができる環境に繋がる重要な取組と判断し、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	100	100	100				
	合計特殊出生率			複合的な要因のため達成状況の判断は困難	引き続き子育て支援の取り組みを行う	継続	施策との関係性を一義的に判断することは困難
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	1.20	1.16	1.50				
②子育て世帯の経済的負担の軽減	保育所保育料の助成割合(%)			有効に機能しているものと考えられる。	子育て支援等に引き続き取り組み、数値の向上を目指す	継続	実績や効果を維持するため、事業継続のみならず事業検討を図る。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	40.7	67.7	継続				
③子育て支援体制・環境の整備	乳幼児健康診査及び1歳6カ月・3歳児健康診査の受診率(%)			目標値を若干下回ったが、概ね達することができ、安心した子育て支援体制づくりに繋がっていると考えられる。	特になし	継続	健康診査を通して子育て支援体制・環境の整備を行うことが、重要取組に繋がっていると判断し、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	98.7	98.9	100				
	待機児童			施設面では目標達成が可能な状況	保育士等の安定確保が必要	継続	引き続き、保育士等の人材確保に努める。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	なし	なし	継続				

(3)小児医療及び周産期医療の提供体制等の確保

○小児科および産婦人科常勤医師の確保等	市立病院に勤務する小児科および産婦人科常勤医師数			小児科医はR2に旭川医科大学小児科医局から常勤医師派遣を受け、継続任用できた。産婦人科医師は、医師数減少や3次医療圏の周産期センター等への集約化もあり常勤医師獲得が難しい状況	引き続き、道内医育大学等への常勤医師派遣に要請を行う	継続	北海道地域医療構想における医療体制整備の考え方や市立病院の経営状況等を勘案しながらより適切な地域医療提供体制を構築する
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	小児科0人 産婦人科0人	小児科1人 産婦人科0人	小児科2人 産婦人科1人				

(4) 仕事と子育てを両立できる環境づくり

○仕事と子育ての両立支援	育児休業取得支援助成金の 申請件数(再掲、件/年)			育児休業を取得させる企業 が増加傾向にあり目標値を 大幅に超えることができた。	特になし	見直し	育児休業取得率の向上など 一定の役割を果たしたため 見直しを行う。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	2	10	2				

基本目標4 住み続けたいまち、そして誇りをもてるまちをつくる

重要業績評価指標 (KPI)				KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)	
						評価	評価の視点
⑨	住みよいまちと感じている人の割合	58.7%	44.1%	70.0%	アンケートの回答項目を追加した結果、回答が分散し、目標値を下回った。 ※回答項目に「普通」を追加したため、住みよいと感じる人の割合が減少した。(普通と回答した割合33.6%)	アンケート回答項目を再検討する。	継続 「住みにくい」「やや住みにくい」と回答した割合は依然として横ばいのため、各種施策を継続しながら発展を目指すしていく。(2024年: 18.9%、2021年: 18.4%)

施策名	重要業績評価指標 (KPI)			KPI目標値の達成状況	今後の改善点等	施策評価(案)	
						評価	評価の視点
(1) まちなか居住などの住環境の整備と空家住宅対策							
①コンパクトなまちづくりと空家住宅対策	持ち家住宅新築件数			住宅助成事業等の活用により、目標値に達することができた。	物価・労務の高騰により、建設費も上昇し建設数も減少している。建設を促進するための検討が必要。	継続	持ち家住宅の建設促進のため、住宅助成事業を継続的に取り組みたい。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	45件	5年間累計 161件	5年間累計 150件				
②狭あい私道等の整備	狭あい私道拡幅促進事業による道路整備 (km/累計)			1路線(1件)の私道拡幅を行い、市道認定を行った。		継続	要望があれば適宜検討する。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	0.4	0.9	0.9				
	道路整備事業助成による道路整備 (km/累計)			1路線(1件)の道路整備を実施した。		継続	要望があれば適宜検討する。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	0.6	0.1	1.1				
③バリアフリー化の推進	無電柱化路線(km/累計)			道道深川雨竜線のバリアフリー化が完了した。	道道旭川深川線のバリアフリー化を推進する。	継続 発展	当初計画になかった道道旭川深川線のバリアフリー化を推進する。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	0.6	1.9	1.9				
(2) 雪国の快適な生活環境づくり							
①個人住宅の除排雪サービス	門口・通路除雪の相談対応件数 (件/年)			門口・通路除雪に対し、目標値を達成できた。	振興公社(除雪サービスセンター)から市直営となるため、事業の長期継続が可能となるよう事務手続き等の見直しの検討を要する。	継続	市内の除雪業者が減少している中で、個人住宅の除雪を請負う事業者の確保にも取り組みたい。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	91	95	90				

	家周り等除雪の相談対応件数 (件/年)	目標値を下回ったが、概ね 相談対応ができています。	振興公社(除雪サービスセ ンター)から市直営となるた め、事業の長期継続が可能 となるよう事務手続き等の 見直しの検討を要する。	継続	市内の除雪業者が減少して いる中で、個人住宅の除雪 を請負う事業者の確保にも 取り組みたい。
	基準値	R6実績値	R6目標値		
	417	204	400		
②除排雪作業体制の確保	市道の除排雪路線(km)	現状は体制が維持されてい る。	今後も適切な成果が得られ るよう、万全な除排雪作業 体制の確立を図っていく。	継続	オペレータ養成や除雪機械 の確保に努める。
	基準値	R6実績値	R6目標値		
	385	385	現状維持		
(3) 公共交通の確保					
○市民の交通手段の確保	高齢者バス利用料金助成事業 登録者数(人/累計)	目標値を下回った。 登録者数は例年50人前後 ずつ増えている。 ※料金改定の案内をきっか けにバスの利用をしていな い者が判明した結果登録抹 消者が昨年の3倍に増えて いる状況。	引き続き本事業の活用推進 を勧めていく。目標値は「新 規登録者」に変更する。	継続	バスを利用している者や今 後バスの利用を希望してい る者に対して引き続き事業 の周知を行う。
	基準値	R6実績値	R6目標値		
	730	772	1,100		
(4) 安心を支える健康・医療・介護施策の充実					
①健康づくりの推進と疾病予防	特定健康診査の受診率(%)	特定健康診査の勧奨を行っ た結果、目標値に達するこ とができなかった。	市の公式LINEを活用した予 約申込を行い、利便性を向 上させ、施策の充実を図っ ていく。	継続	健康づくりの推進と疾病予 防を行っていく上で、特定健 康診査受診して貰うことが重 要と判断し、事業を継続して いく。
	基準値	R6実績値	R6目標値		
	37.6	33.7	60.0		
②深川市立病院における医師 の確保	市立病院に勤務する小児科および産婦人 科常勤医師数(再掲)	小児科医はR2に旭川医科 大学小児科医局から常勤医 師派遣を受け、継続任用で きた。産婦人科医師は、医 師数減少や3次医療圏の周 産期センター等への集約化 もあり常勤医師獲得が難し い状況	引き続き、道内医育大学等 への常勤医師派遣に要請を 行う	継続	北海道地域医療構想におけ る医療体制整備の考え方や 市立病院の経営状況等を勘 案しながらより適切な地域 医療提供体制を構築する
	基準値	R6実績値	R6目標値		
	小児科0人 産婦人科 0人	小児科1人 産婦人科 0人	小児科2人 産婦人科 1人		

	<table><tr><td colspan="3">市立病院に勤務する常勤医師数</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td>整形外科 0人</td><td>整形外科 1人</td><td>整形外科 2人</td></tr><tr><td>皮膚科0人</td><td>皮膚科1人</td><td>皮膚科1人</td></tr></table>	市立病院に勤務する常勤医師数			基準値	R6実績値	R6目標値	整形外科 0人	整形外科 1人	整形外科 2人	皮膚科0人	皮膚科1人	皮膚科1人	旭川医科大学から整形外科はR4、皮膚科はR6より常勤医師の派遣を受けることができた	常勤医師派遣が難しい診療科においては出張医による外来診療を継続する。	継続	常勤医の継続的な診療により質の高い医療提供と医師派遣による多角的な診療体制を整え、病院経営を踏まえた地域医療体制を確保する																		
市立病院に勤務する常勤医師数																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
整形外科 0人	整形外科 1人	整形外科 2人																																	
皮膚科0人	皮膚科1人	皮膚科1人																																	
③深川市立病院における看護師の確保	<table><tr><td colspan="3">深川市立高等看護学院の学生数 (1学年定員22人)(人)</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td>22</td><td>22</td><td>定員確保</td></tr></table>	深川市立高等看護学院の学生数 (1学年定員22人)(人)			基準値	R6実績値	R6目標値	22	22	定員確保	受験生は減少傾向であるが、推薦枠の拡充などを行い定員数の確保に努めた	学校説明会等へ積極的に参加し学生確保に努める	継続	市立病院に勤務する看護職員を安定的に確保し医療提供体制を整える																					
深川市立高等看護学院の学生数 (1学年定員22人)(人)																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
22	22	定員確保																																	
④介護予防と地域生活支援の推進	<table><tr><td colspan="3">介護予防ふれあいサロンの参加率 (%)</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td>4.7</td><td>6</td><td>7.4</td></tr></table>	介護予防ふれあいサロンの参加率 (%)			基準値	R6実績値	R6目標値	4.7	6	7.4	目標値を下回っているが、経年でみると年々増加傾向にある。	今後もサロンの立ち上げ支援や伴走・後方支援を継続していく。	継続	今後も高齢者の生きがいづくりや健康維持につながるよう、サロン活動を支援していく。																					
介護予防ふれあいサロンの参加率 (%)																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
4.7	6	7.4																																	
(5)未来を担う人づくり																																			
①人材の育成	<table><tr><td colspan="3">人材育成事業を活用した研修等の参加者数(人/年)</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td>18</td><td>23</td><td>20</td></tr></table>	人材育成事業を活用した研修等の参加者数(人/年)			基準値	R6実績値	R6目標値	18	23	20	研修や交流事業などの参加者を対象に助成を行った結果、目標を達成した。	特になし	継続	活力と魅力に満ちたまちづくりの推進に資する重要な取組みと判断し、事業を継続していく。																					
人材育成事業を活用した研修等の参加者数(人/年)																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
18	23	20																																	
②小中学校児童生徒の学力向上等への取組み	<table><tr><td colspan="3">全国学力・学習状況調査における 深川市平均正答率と 全国平均正答率の比較</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td colspan="3">国語(小学校)</td></tr><tr><td>上回る</td><td>下回る</td><td>上回る</td></tr><tr><td colspan="3">算数(小学校)</td></tr><tr><td>同程度</td><td>下回る</td><td>上回る</td></tr><tr><td colspan="3">国語(中学校)</td></tr><tr><td>下回る</td><td>上回る</td><td>上回る</td></tr><tr><td colspan="3">数学(中学校)</td></tr><tr><td>下回る</td><td>下回る</td><td>上回る</td></tr></table>	全国学力・学習状況調査における 深川市平均正答率と 全国平均正答率の比較			基準値	R6実績値	R6目標値	国語(小学校)			上回る	下回る	上回る	算数(小学校)			同程度	下回る	上回る	国語(中学校)			下回る	上回る	上回る	数学(中学校)			下回る	下回る	上回る	4教科中1教科が目標を達成し、3教科が未達成となった。	特になし	継続	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する全国的な学力調査のため。
全国学力・学習状況調査における 深川市平均正答率と 全国平均正答率の比較																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
国語(小学校)																																			
上回る	下回る	上回る																																	
算数(小学校)																																			
同程度	下回る	上回る																																	
国語(中学校)																																			
下回る	上回る	上回る																																	
数学(中学校)																																			
下回る	下回る	上回る																																	
③生涯学習の充実	<table><tr><td colspan="3">生涯学習出前講座の開催回数 (回/年)</td></tr><tr><td>基準値</td><td>R6実績値</td><td>R6目標値</td></tr><tr><td>34</td><td>19</td><td>36</td></tr></table>	生涯学習出前講座の開催回数 (回/年)			基準値	R6実績値	R6目標値	34	19	36	開催回数が目標値を下回った。 【前年度比】 ・開催回数(▲34.5%) R5:29回→19回 ・参加者数(▲27.4%) R5:559名→406名	H30に設定した目標値のため、コロナ禍後の現状を踏まえた目標値の見直しや、参加者アンケート等によるニーズ把握が必要。	継続	平成9年から実施している学習機会の充実及び意識の高揚に有効な事業であり、回数増が困難でもメニューの更新等により質的な向上を図るなどして継続するべき。																					
生涯学習出前講座の開催回数 (回/年)																																			
基準値	R6実績値	R6目標値																																	
34	19	36																																	

(6) 防災などの暮らしの安全

○地域防災の推進	自主防災組織率(%)			自主防災組織の対象を狭義の定義で計数していたため目標値を下回った。	組織率向上に向けた広報活動を行う。	継続	自主防災組織率向上に努める。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	20.3	37.7	50.0				
	無電柱化路線(再掲、km/累計)			道道深川雨竜線のバリアフリー化が完了した。	道道旭川深川線のバリアフリー化を推進する。	継続 発展	当初計画になかった道道旭川深川線のバリアフリー化を推進する。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	0.6	1.9	1.9				

(5)労働力の確保

○北空知圏域をはじめとする 広域連携の推進	広域連携による事務事業数 (事業/累計)			広域連携を推進した結果、 目標値に達することができた。	令和10年度からの次期北空 知定住自立圏共生ビジョン の計画改訂に向け成果指標 (KPI)を見定めていく。	継続	人口減少下においては、地 域の持つ様々な資源を有効 活用することが重要と判断 し、事業を継続していく。
	基準値	R6実績値	R6目標値				
	23	25	25				